
文学的作品?

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

文学的作品？

【ZPDF】

N07280

【作者名】

じほんライス

【あらすじ】

タイトルに深い意味はありません。。。何かの試作品。

(前書き)

前書きとは特にあつません。

葦山武司は、学校が終わってから、近くの喫茶店に入り、いつも通り、ホットを頼んだ。文庫に田を落とす。なかなか面白い。ウエイドレスのヤマコちゃんのでかいお尻がちょっと気になる。うーんと大きく伸びをした。

「ヤマコちゃん。セックスしてもいいかい」

「いいよ。一百ドルね」

「百ドルにしてくれないか」

「だめよ。いやならやめな

「わかったよ」

武司はくちゅくちゅの田ドル紙幣を一枚、ヤマコに渡した。

「マスター。一階の部屋借りるね」

「いいよ」

武司とヤマコは階段をのぼり、一階へ行く。

四畳半の部屋があり、ここでセックスをする。している最中、喫茶店の天井がみしみし揺れ、お密さんが、またセクスかと嘆く。

ヤマコはセックスが終わったあと、武司と店の外へ出た。だいぶ、暗い。

武司はヤマコのおこにキスをした。ヤマコは恥ずかしい。

「ヤマコちゃん。レストランで晩御飯にしよう」

「いいわね」

二人でレストランに入る。

たくさんたくさん食べたあと、武司はウェイターに尋ねた。

「一階使ってもいいかい?」

「いいですよ」

ヤマコと武司はレストランの階段を上り、一階へ行った。

八畳の部屋があり、そこでセックスをした。

レストランの天井がみしめし揺れ、客はまたセックスかと嘆いた。
二人はセックスをし終え、一階のレジで会計したあと、店の外へ出た。

二人は腕を組んで歩く。

「ヤマコちゃん。寿司屋に行かないかい」

「よく食べるわねえ。いいわよ」

一人で寿司屋へ入った。

寿司をばかばか食べたあと、武司は大将に、一階使つてもいいかい、と尋ねた。大将はいいよと答えた。

一人で階段を上り、二階へ行つた。

六畳の部屋の中央に布団が敷いてあり、二人はそこでセックスをした。

店の天井がみしめし揺れ、セックスしてやがるのかと客が不愉快に思つた。大将も、近頃の若え奴はと嘆いている。

女将が二階にオレンジジュースを持って行つたら、まだセックスをしていた。

だいぶ夜遅かつたので二人はそこで寝た。ヤマコが、シャワー浴びたいなど一階へ降り、大将にシャワー貸してくださいと聞いたら、大将に殴られた。

「な、なんで殴るのよ…」

「うるせえ！」

女将はヤマコの腹を蹴飛ばした。「うげ」

その頃、武司は夢を見ていた。

「あん！あん！あん！」

「おう！おう！おう！」

セックスをしている夢を見ていた。

その頃、ヤマコは客のいない店内で、大将と女将にボコボコにされて、肋骨を数本折つていた。

(後書き)

後書きは特にあつません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0728o/>

文学的作品？

2010年10月8日22時53分発行